

AWL Pad Mini (7インチ)

ユーザーマニュアル V1.0

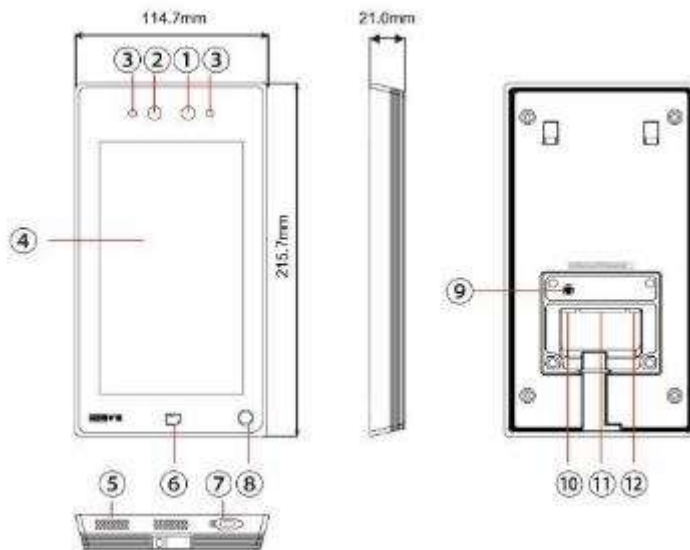
内容

第 1 章 製品概要	3
1.1 製品紹介.....	3
第 2 章 デバイス操作手順	4
2.1 初期設定とナビゲーション.....	4
2.1.1 電源起動時の設定.....	4
2.1.2 ネットワーク接続設定.....	5
2.1.3 管理モードの選択.....	6
2.1.4 アプリケーションの選択.....	7
2.2 認識画面.....	8
2.2.1 認識画面.....	8
2.2.2 スタンバイモード.....	9
2.2.3 エンジニアリングモード.....	9
2.3 個人管理.....	10
2.3.1 人員の追加.....	10
2.3.2 検索と削除.....	13
2.3.3 グループの追加.....	14
2.3.4 グループの検索と削除.....	15
2.3.5 グループ情報の編集.....	16
2.4 アクセス制御管理.....	16
2.4.1 アクセス制御パラメータ設定.....	17
2.4.2 アクセス制御プランの追加.....	18
2.4.3 アクセス制御プランの変更と削除.....	18
2.5 業務設定.....	19
2.5.1 通行のヒント.....	19
2.5.2 画面のカスタマイズ.....	20
2.5.3 感染症対策の体温測定.....	20
2.6 システム設定.....	21
2.6.1 ローカルネットワーク.....	21
2.6.2 Wi-Fi.....	22
2.6.3 識別設定.....	22
2.6.4 wiegand 設定.....	24
2.6.5 個性設定.....	25
2.6.6 デバイス管理.....	26
2.7 通行記録.....	28

2.7.1 通行記録リスト.....	29
2.7.2 通行記録の検索.....	29
2.7.3 日付別の検索.....	30
2.8 データ管理.....	30
5.8.1 USBドライブの接続.....	31
2.8.2 データのエクスポート.....	31
2.8.3 データのインポート.....	32
2.8.4 出荷時設定復元.....	33
安全上の注意.....	33

第 1 章 製品概要

1.1 製品紹介



1	可視光カメラ	映像を撮影します
2	赤外線カメラ	赤外線映像を撮影します。
3	赤外線補助光	赤外線カメラの補助をします。
4	ディスプレイ	7 インチのタッチスクリーン
5	スピーカー	音を出します
6	IC カードリーダー	IC カードを読み取ります
7	USB ポート	typeC の USB ポート
8	インジケータライト	電源とアクセス結果を点灯

9	改ざん防止ボタン	改ざんを防ぎます
10	RS232 デバッグポート	トラブルシューティングとアップグレード時に使用します
11	ケーブルポート	電源などの接続ポート
12	リセットボタン	長押しで工場出荷時に戻します。

第 2 章 デバイス操作手順

2.1 初期設定とナビゲーション

2.1.1 電源起動時の設定

電源に接続すると、デバイスは自動的に起動します。右の図のようなスタートアップ画面が表示されます。



初めてデバイスを起動した場合、または工場出荷時のリセット後、起動時にデバイスの初期設定ページが表示されます。

デフォルトのユーザー名は「admin」です。

- [password]

希望のパスワードを入力します。

- [confirm password]
同じパスワードを入力します。
- [Activate]
タップして次のステップに進みます。

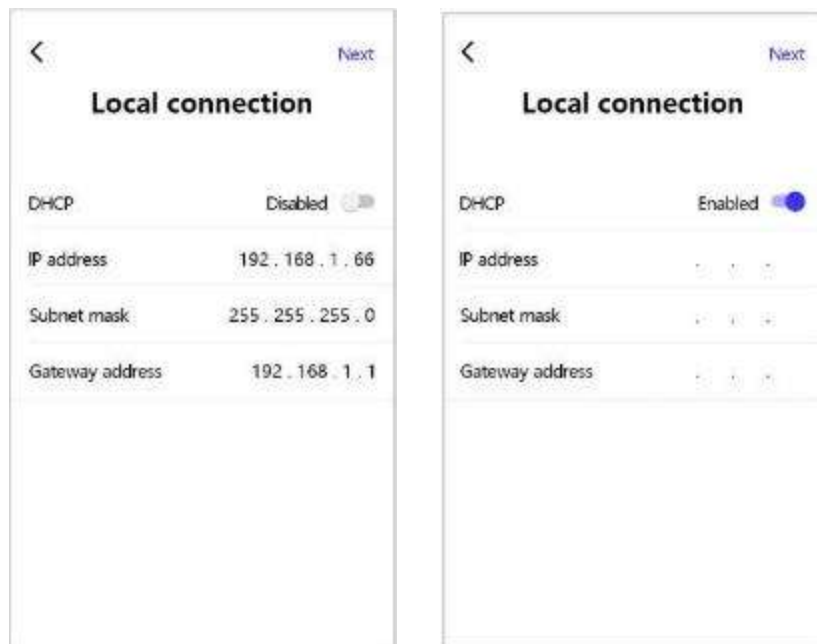
注: インターネットで使用製品のセキュリティ向上の為、6 から 16 文字のパスワードを設定する必要があります。

2.1.2 ネットワーク接続設定

ローカル接続:

ローカル接続をセットアップするには、デバイスを LAN で接続し、IP アドレス、サブネット マスク、ゲートウェイ アドレスなどのデバイス ネットワーク パラメータを設定します。DHCP をサポートするデバイスの場合は、DHCP を有効にして、ネットワークに関連情報を自動的に提供させることができます。終わったら「Next」をタップします。

注: Wi-Fi を使用する場合は、この手順を省略して、Wi-Fi の構成手順に直接進むことができます。

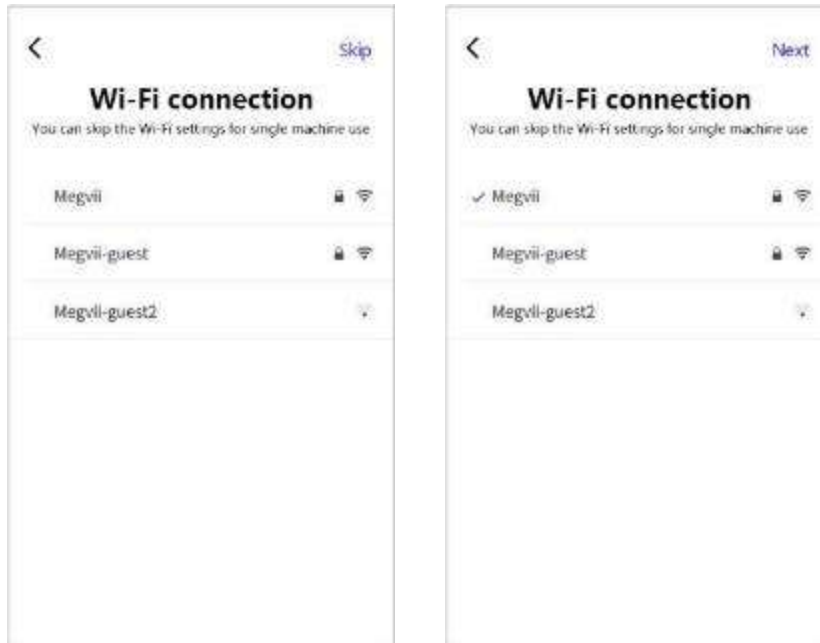


Wi-Fi 設定:

デバイスの Wi-Fi 機能は、既定で有効になっています。現在利用可能なすべてのスポットが表示されます。

利用可能な Wi-Fi ネットワークを選択します (パスワードを必要とする Wi-Fi ネットワークのみがサポートされてます)。次に、正しいパスワードを入力し、「Connect」をタップして Wi-Fi ネットワークに接続します。

注意: 1) ネットワーク不要の予定の場合は、Wi-Fi の設定をスキップすることができます。



2.1.3 管理モードの選択

管理モード選択画面は、次のように表示されます。



サーバー管理:

デバイスがクラウド上の管理システムにアクセスする必要がある場合は、このオプションを選択します。

[Server Management] をタップし、IP アドレス、アカウント、およびパスワードを入力し、[Next] を押します。IP アドレス、アカウント、およびパスワードが一致しない場合、「Connection failed. Please check the entered content」と表示します。ネットワーク構成が正しくない場合は、左上隅にある「戻る」をタップしてネットワーク構成ページに戻り、ネットワークを再構成します。

Pad 単体での使用:

デバイスのみを使用する必要がある場合は、「Standalone Use」をタップして次のステップに進めます。

注 1: 「Standalone Use」では、リモート構成を使用できません。モードを切り替えるには、デバイスを工場出荷時のデフォルト設定に戻します。

注 2: 工場出荷時のデフォルト設定を手動ですると、すべてのユーザ データが消去されます。したがって、データを事前にバックアップしてください。

2.1.4 アプリケーションの選択

「Quick Access Scenario」と「Multi-person Attendance Scenario」のいずれかを選択できます。

Quick Access Scenario: このシナリオは、一人一人のアクセスで推奨します。組み合わせ ID 検証（顔、カード、顔、パスワードなど）をサポートします。

Multi-person Attendance Scenario: このモードは、大量のユーザーが出勤/退勤のエリアにアクセスするシナリオに使用できます。組み合わせ ID 検証（顔、カード、顔、パスワードなど）はサポートしていません。このモードは、同じ画面上で複数の人を迅速に認識し、企業への出入りに使用されます。

アプリケーションシナリオを選択した後、「Start to Use」をクリックしてシステムホームページに移動します。



2.2 認識画面

2.2.1 認識画面



- 認識画面には、現在の時刻、リアルタイムの映像、認識結果、およびその他の情報が表示されます。

- 画面をタップすると、会社名、デバイスの場所、Wi-Fi 接続の状態、有線接続の状態、およびサーバー接続の状況が表示されます。

2.2.2 スタンバイモード

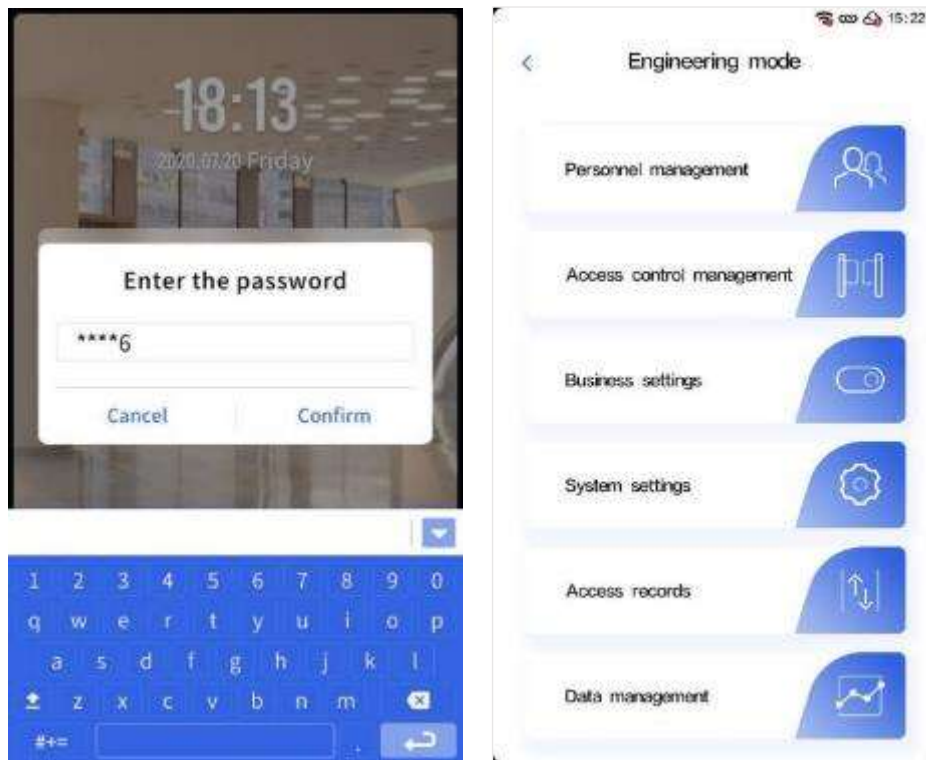
設定されたスタンバイ時間に対してアクションがない場合、デバイスは自動的にスタンバイモードに入ります。顔を検知するとスタンバイモードが解除されます。

スタンバイ時間は、「システム設定」->「個性設定」で変更できます。

2.2.3 エンジニアリングモード

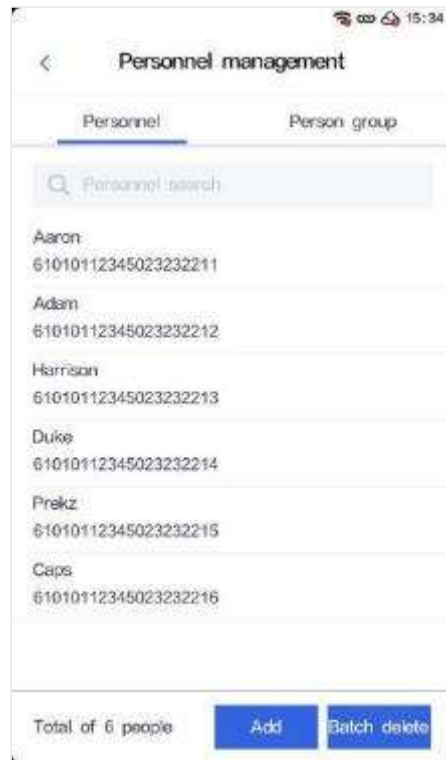
- 認識画面で、画面を長押しして、パスワード入力画面を表示します。
- パスワードを入力し、「OK」をタップしてエンジニアリングモードに入ります。
- プレイヤーが顔検出を通じて管理者権限を持っている場合、パスワード入力をスキップして、直接エンジニアリングモードに移ることもできます。
- 左上隅にある「戻る」ボタンをタップし、「OK」をタップしてエンジニアリングモードを終了します。

注: 5 分以内に 5 回パスワードが間違っていると、10 分間ロックされます。



2.3 個人管理

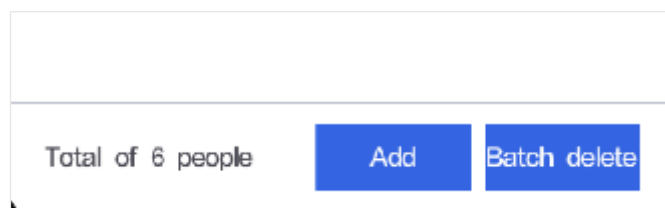
個人管理に移動するには、「個人管理」をタップします。
画面は下の図に示されています。



2.3.1 人員の追加

注: データの統一を確保するために、この操作はスタンドアロン使用モードでのみ使用できます。

- 「個人」をタップすると、全ての登録者のリストが表示されます。



- 下部にある「新規追加」をタップして、新しいユーザーを作成します。



- 次の表に示すように入力します。

項目	説明
個人名	必須
個人番号	必須
個人写真	必須、タップして顔画像を撮影します
カード番号	カード番号を入力できます。またはカードをかざしてください
パスワード	パスワードは 6 桁です
グループ	選択したグループに追加します
管理者権限	選択した場合、そのユーザーには管理者権限が付与されます。

- **個人写真の撮影**

ユーザーは、円の中に自分の顔が映るように調整してください。次に、「登録」をタップして顔写真を撮影します。

撮影した写真がダメな場合は、「再登録」をタップしてもう一度撮影します。撮影後、右上隅の「完了」をタップして終了します。



- **カード番号**

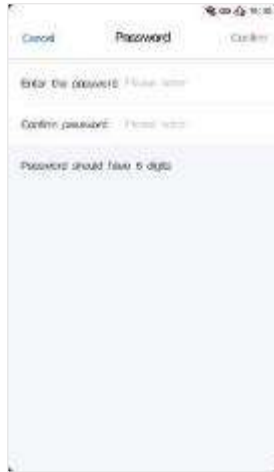
カード番号の入力もしくは、画面に表示されているエリアにカードをタップすると、カード番号が自動的に読み取られます。右上の「完了」をタップして、カードを保存します。



- **パスワード**

「パスワードの入力」:6桁のパスワードを入力します。

「パスワードの確認」:タップし、前と同じパスワードを入力します。「完了」をタップします。パスワードが一致していて、要件を満たしている場合、新しいパスワードが登録されます。



管理者権限

ユーザーに管理者特権が付与されている場合、ユーザーは顔認証でエンジニアリングモードに入ることができます。

2.3.2 検索と削除

● 個人の検索

人事管理で、[個人] をタップしてすべての従業員の一覧を表示します。

検索ボックスをタップし、名前を入力し、「OK」をタップして一致する担当者を検索します。一致する登録者が下に表示されます。

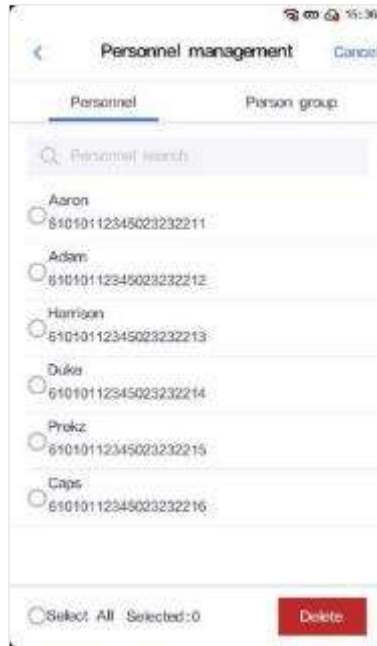


● 個人の削除

- 削除する人の名前をタップします。
- 詳細ページが開きます。
- ページの一番下にある「個人の削除」をタップし、確認ボックスの「OK」をタップして削除します。

● 一括削除

個人一覧で、削除する登録者にチェックを入れ、ページの一番下にある「一括削除」をタップし、確認ボックスの「OK」をタップして、選択した人員を削除します。



2.3.3 グループの追加

注: データの統一を確保するために、この設定はスタンドアロン使用モードでのみ使用できます。



- 個人管理で、[グループ] をタップして、すべてのグループの一覧を表示します。下部にある「新規追加」をタップして、新しいグループを作成します。
- グループの名前を入力し、時間プランの選択をします。
- 右上隅の [保存] をタップして、新しいグループを作成します。



2.3.4 グループの検索と削除

- [グループの検索]: [個人管理] で、[グループ] をタップして、すべてのグループの一覧を表示します。検索ボックスに名前を入力し、「OK」をタップして一致するグループを検索します。一致するグループが、下部に表示されます。



- グループは追加された順序で表示され、新しく追加されたグループが最後に表示されます。
- グループの削除: 複数のグループを選択し、ページ下部の [一括削除] ボタンをタップするか、[すべて選択] してグループを一括削除します。削除するグループにまだ人員が含まれている場合、これらの従業員は自動的にデフォルトグループに移動されます。



注: このデバイスは最大 128 のグループを登録できます。

2.3.5 グループ情報の編集

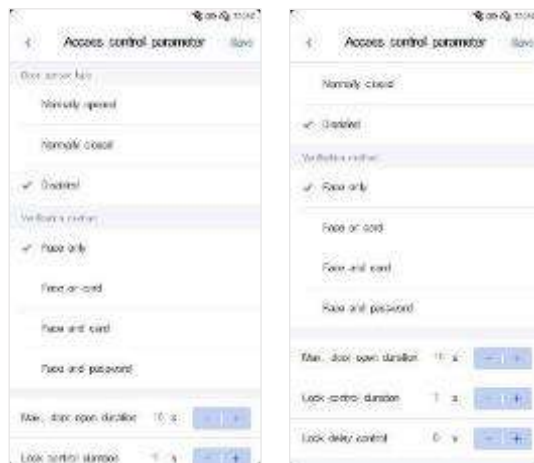
グループ一覧で、編集するグループをタップして、選択したグループの情報を表示します。ここで新しいグループ名を入力するか、新しい時間プランを選択することができます（2.3.3 を参照）。

2.4 アクセス制御管理



2.4.1 アクセス制御パラメータ設定

ドアセンサータイプと認証方式の設定です。

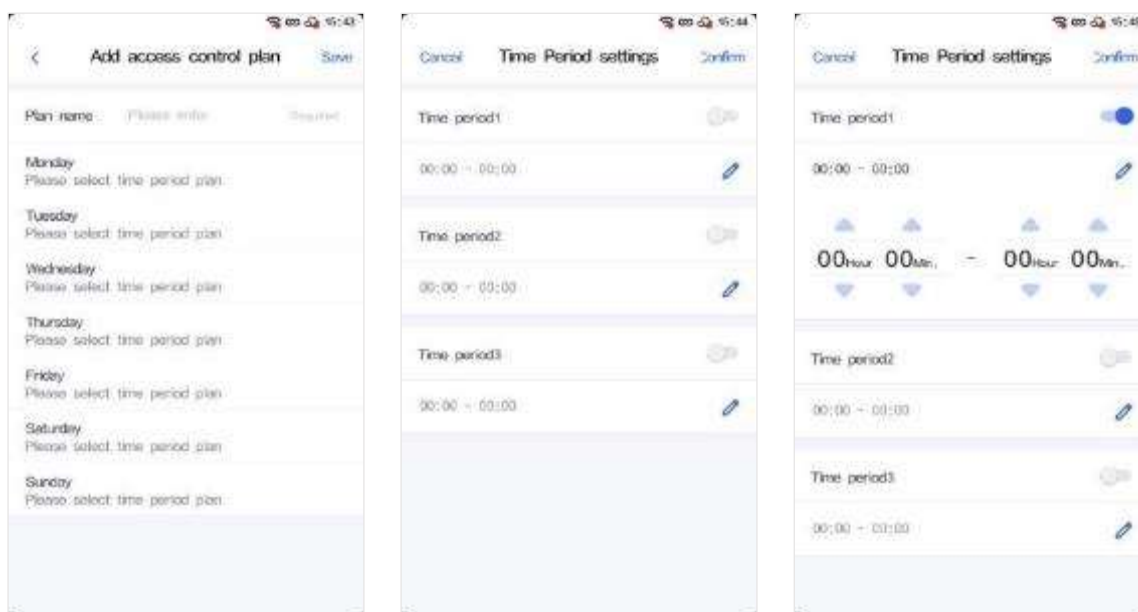


構成項目	説明
ドアセンサータイプ	電気錠が信号をサポートしている場合、デバイスに接続して「常開」か「常閉」かをデバイスで確認できます。このような設置をしない場合は、「無効化済み」(デフォルト設定) を選択します。一般的は「常閉」です。
認証方法	使用モードごとに異なる認証方法を選択できます。 一人モード: 顔認証のみ 顔認証またはカードスキャン (低セキュリティレベル) 顔認証とカードスキャン (高セキュリティレベル) 顔認証とパスワード (高セキュリティレベル) 複数人モード: 顔認証のみ 顔認証またはカードスキャン (低セキュリティレベル) 注: 使用モードに基づいて、認証方法を選択できます。カード番号やパスワード認証方法を使用する場合は、事前に関連情報を入力する必要があります。
解錠最大時間	アラームが作動するまでのドアの開放時間。アラーム出力をサポートします。値の範囲: 1-255 秒。 デフォルト値: 10 秒。
施錠制御時間	ドアのロックが解除されたままの時間。 値の範囲: 1~60 秒;デフォルト値: 1 秒。
遅延施錠制御	ID 検証が成功してから、ドアが開錠されるまでの時間。 値の範囲: 1~60 秒 デフォルト値: 0 秒。

2.4.2 アクセス制御プランの追加

- アクセス制御管理画面の右上隅にある「新規追加」をタップして、アクセス制御プランの追加ページに移動します。
- 新しいアクセス 制御プランを入力します。
 - プラン名と時間を入力します。
 - 時間設定: 月曜日から日曜日までの時間を設定します。時間帯設定画面に移動します。各日には 3 つの時間帯があり、既定ではすべて無効になっています。時間帯が有効な場合、編集アイコンをタップして時間を設定できます。時間を設定したら、「完了」をタップして保存し戻ります。
 - プラン情報を入力したら、右上隅にある「保存」をタップして、プランを保存します。

注意: 各期間の終了時刻は開始時刻より遅くなければなりません。



2.4.3 アクセス制御プランの変更と削除

- アクセス制御プランの変更
時間プランリストで変更する時間プランの名前をタップします。
選択した情報変更ページに移動します。
ここでは、タイムプラン名と時間帯情報を変更できます (2.4.2 アクセス制御プランの追加を参照)。
- アクセスコントロールプランの削除
タイムプランリストで削除するタイムプランの名前をタップして、情報変更ページに移動します。ページの一番下にある「アクセス制御プランの削除」をタップしてプランを削除します。

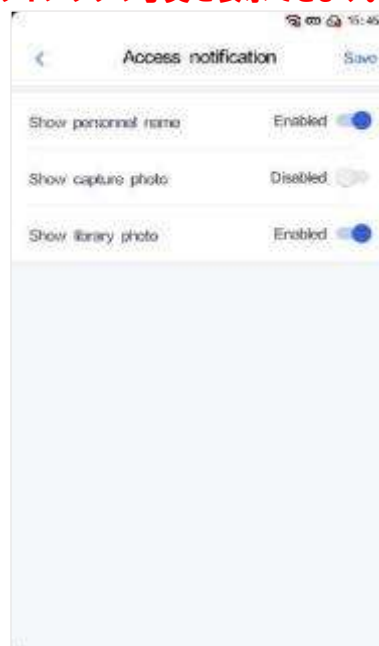


2.5 業務設定

2.5.1 通行のヒント

- 認識結果に、名前、キャプチャ画像、およびライブラリ写真を表示するかどうかを設定できます。
- 設定を行った後、右上隅の「保存」をクリックして、設定を保存します。

注: キャプチャした画像またはライブラリの写真を表示できます。



2.5.2 画面のカスタマイズ

「待機時の画像の変更」をタップすると、デバイスがスタンバイモードのときに表示される画像を変更できます。

注意:

1. USB デバイスを接続して、スタンバイ画像をインストールする必要があります。
2. 画像は JPG 形式または PNG 形式にすることができます。
3. 最大画像解像度は 1080 x 1920 で、推奨解像度は 480x854 です。



2.5.3 感染症対策の体温測定

体温測定、マスク着用検出、その他の機能を有効にするかどうかを設定できます。設定を行った後、右上隅にある「保存」をタップして設定を完了します。

- **体温測定**
この機能が有効な場合、人の体温を測定し、認識結果画面に表示します。高温が検出された場合は、アラートが表示されます。
- **高熱のため入室禁止**
この機能が有効になっている場合、高熱が検出されるとドアをロックします。
- **高速体温測定**
有効にすると、ID 検証なしで温度のみをチェックします。
- **高熱しきい値**
高熱しきい値を設定できます。しきい値を超える温度は、高熱と見なされます。値の範囲: 36.5° C-38.5° C。

注意:

①体温測定は、温度検出モジュールがデバイスに接続されている場合にのみ有効にできません。

②体温測定が有効な場合、認証モードは「顔」モードに変更されます。

- **マスク着用検出**
この機能が有効な場合、デバイスはマスクのない人物が検出されたときに忠告を出します。
- **マスク未着用の方は入室禁止**
有効にすると、デバイスはマスク未着用者に対してドアを開けません。

注: マスク着用検出が有効になっている場合、認証モードは「顔」に変更されます。



2.6 システム設定

ローカルネットワーク、Wi-Fi、識別設定、Wiegand 設定、個性設定、デバイス管理などのシステム管理設定できます。



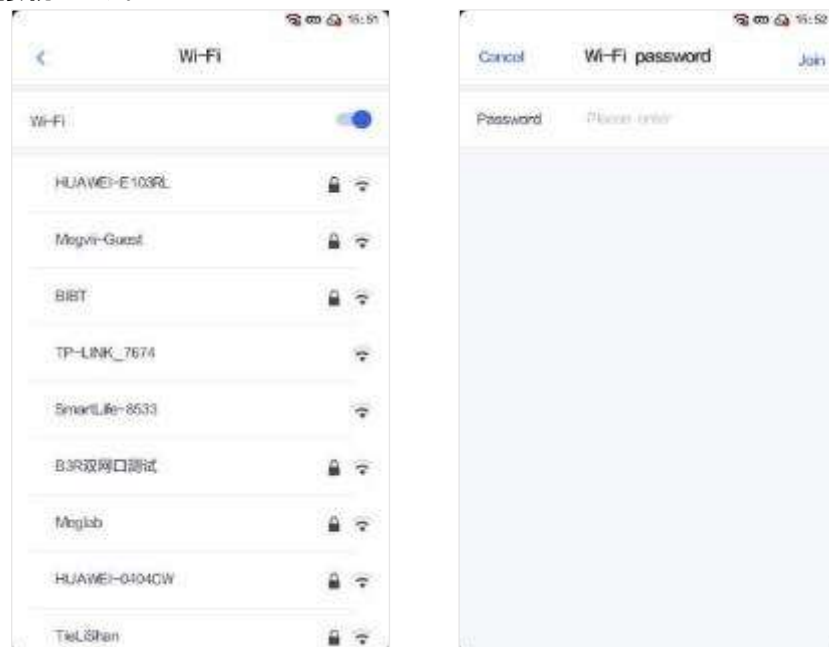
2.6.1 ローカルネットワーク

「ローカルネットワーク」をタップして、対応する設定ページに移動します。



2.6.2 Wi-Fi

利用可能な Wi-Fi ネットワークを選択し、正しいパスワードを入力し、[参加] をタップしてネットワークに接続します。



2.6.3 識別設定



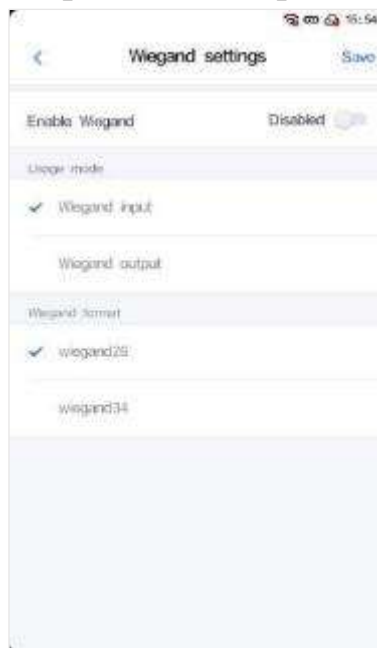
構成項目	説明
使用モード	一人モードまたは複数人モードの選択
生体検出	デフォルトで有効になっています。生体検出が無効になっている場合、生体しきい値を設定できません。
生体しきい値	値の範囲: 0~100;デフォルト値: 96。値が大きいほどセキュリティが高くなります（ただし、誤作動が発生するため、100 に設定することはお勧めしません）。
マスク着用識別	デフォルトで有効になっています。マスク装着識別が無効になっている場合、マスクのしきい値を設定できません。
マスクしきい値	値の範囲: 0~100;デフォルト値: 70。値が大きいほど、セキュリティは高くなります。
識別しきい値	値の範囲: 0~100;デフォルト値: 70。値が大きいほど、セキュリティは高くなります。
識別間隔	値の範囲: 0~10 秒;デフォルト値: 2 秒。
最大認識距離	値のオプション:1m・1.5m・2m。デフォルト値: 1.5 m
Face AE	デフォルトでは無効になっています。有効にすると、バックライトでの認識が向上します。
WDR	デフォルトでは無効になっています。FACE AE では使用できません。
WDR レンジ	値のオプション: 1 級、2 級、3 級。デフォルト値:2 級。
水平角度	値の範囲: 0~90 (度);推奨値: 35。値が大きいほど、面は水平角度が大きくなることを示します。
垂直角度	値の範囲: 0~90 (度);推奨値: 35。値が大きいほど、面は垂直角度が大きくなることを示します。
回転角度	値の範囲: 0~90 (度);推奨値: 35。値が大きいほど、顔の回転が大きくても認識されます。

曖昧度	値の範囲: 0~1;推奨値: 0.8。値が大きいほど、顔は写真から認識されやすくなります。
-----	---

- デフォルト設定に戻す
[デフォルト設定に戻す] をタップすると、デフォルト設定に戻すか確認されます。「OK」をタップすると、設定がデフォルト値に戻ります。前の手順に戻る場合は [キャンセル] をタップします。

2.6.4 wiegand 設定

- 使用モード
wiegand を有効または無効にすることができます
 - 有効にすると、「wiegand 入力」または「wiegand 出力」を選択できます。
- Wiegand フォーマット
 - 「wiegand 入力」を選択した場合は、「wiegand26」または「wiegand34」形式を選択できます。
 - 「wiegand 出力」を選択すると、「wiegand26」または「wiegand34」形式を選択し、コンテンツとして「個人カード番号」または「個人番号」を選択できます。



2.6.5 個性設定



構成項目	説明
会社名	会社名を設定できます。
デバイスの場所	デバイスの場所を設定できます。
音量調節	システムの音量を調整できます。(0~100)
画面の明るさ	画面の明るさを調整できます。(0~100)
待機機能	デバイスのスタンバイモードを有効にするかどうかを選択できます。
待機時間に入る	デバイスがスタンバイモードに入るまでの時間を設定できます。(1~30)
警告インターフェース	警報入力 1、警報入力 2、警報出力、を設定できます。

2.6.6 デバイス管理



- バージョン情報

このページには、デバイス型番、シリアル番号、MAC アドレス、ファームウェア、アルゴリズム、およびデバイス言語が設定できます。



- リソース情報

このページには、残りのストレージ情報(顔情報、通行情報、およびカード情報)が表示されます。



- **時間構成**

タイムゾーン、システム日、およびシステム時間を設定できます。

- NTP 設定 を有効または無効にできます。
- NTP サーバ、ポート、および時刻合わせ時間を設定できます。

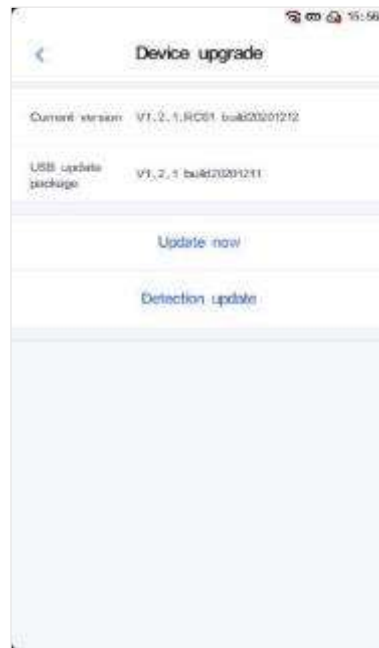


- **デバイスアップグレード**

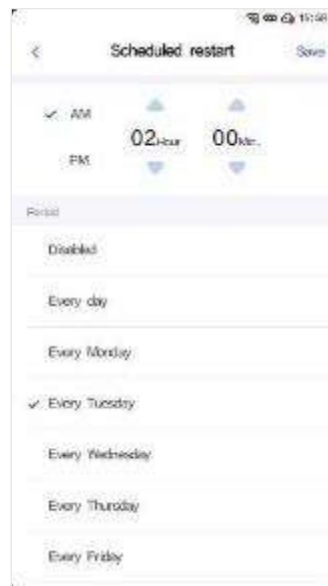
このページには現在のバージョンが表示されます。

[検出更新] をクリックして、更新プログラムを検索します。OTA および USB でのアップデートがサポートされています。USB アップデートの場合は、アップデートファイルの名前を次のように変更します。

"~.bin" をルートディレクトリに配置します。「アップデートを確認」をタップしてアップデートファイルを見つけ、「更新」をタップします。



- **タイマーリセット**
再起動機能を有効または無効にできます。
再起動時間と周期を設定できます。

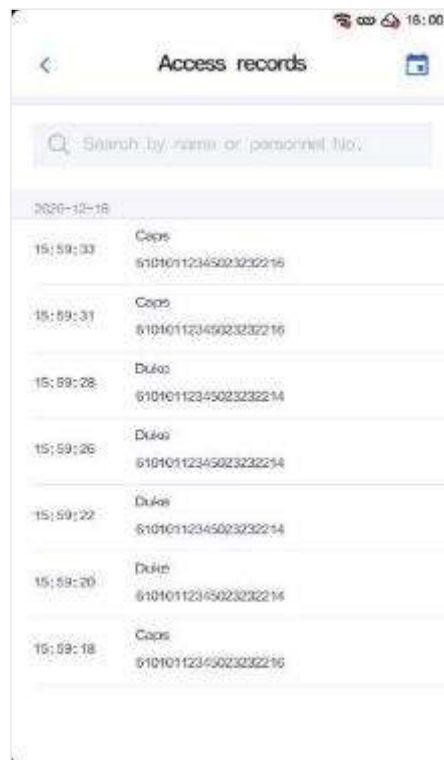


2.7 通行記録

時間別の記録を検索できます。

2.7.1 通行記録リスト

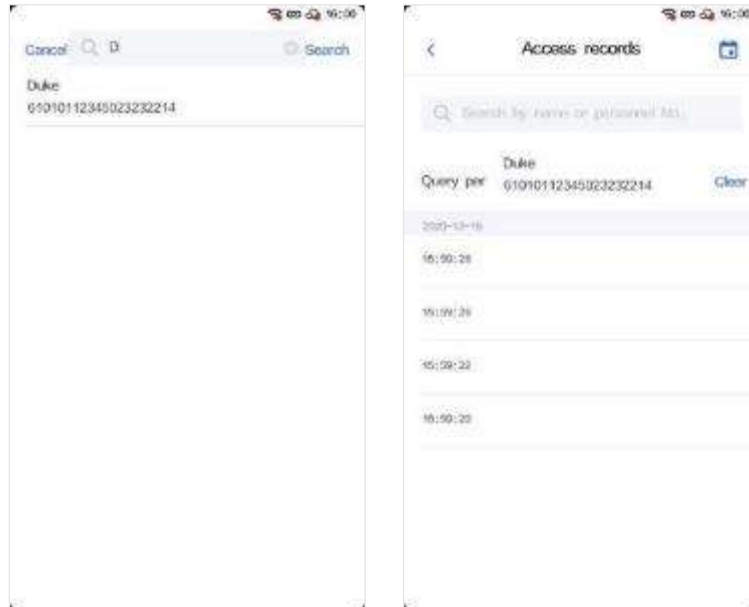
- 通行記録リストには、次の図のように、すべての通行記録が表示されます。
- 時間によって降順に表示され、日別にグループ化されます。アクセス時間、登録者名、および個人番号、体温が表示されます。



2.7.2 通行記録の検索

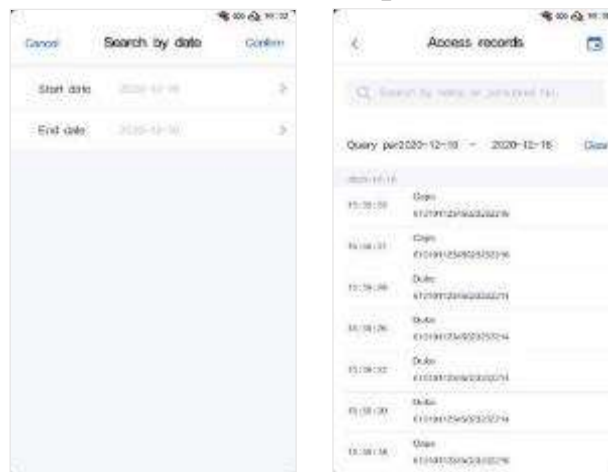
リストの上部にある検索ボックスを使用して、特定の個人名または個人番号の記録を検索します。

- 検索ボックスをタップして検索画面に移動します。検索する担当者の名前を入力し、[検索] をタップして 検索結果を表示します。
- 検索結果をタップして、選択した人物の通行記録に移動します。選択した人の右側にある「クリア」ボタンをタップすると、すべての通行記録のリストに戻ることができます。左上隅にある「キャンセル」をタップして検索画面を終了します。



2.7.3 日付別の検索

- 通行記録リストの右上隅にある日付選択ボタンをタップして、選択した日付の記録を検索できます。
- を検索する期間の開始日と終了日を選択します。
- 右上隅の「OK」をタップすると、選択した時間範囲の記録が表示されます。
- 「キャンセル」をタップすると、前のページに戻ります。
- 選択した時間範囲の右側にある「クリア」ボタンをタップすると、戻ることができます。



2.8 データ管理

すべてのユーザデータの管理ができ、工場出荷時のデフォルト設定に戻すこともできます。

- データのエクスポート: 通行記録、個人写真、デバイスパラメータ、デバイス全体のバックアップを行うことができます。
- データのインポート: 個人写真、デバイスパラメーター、およびデバイス全体をインポートできます。
- 工場出荷時のデフォルト設定に戻す。

5.8.1 USBドライブの接続

- データをインポートまたはエクスポートするには、その他ストレージデバイスを接続する必要があります。USB Type C を使用して、USB ドライブまたはその他デバイスを Pad に接続します。
- USB ドライブまたはその他デバイスが接続されていないか、読み取れない場合は、データをインポートまたはエクスポートできません。
- USB ドライブまたはその他デバイスが Pad で読み取れない場合は、「もう一度確認」をタップしてデバイスデータを再度読み取ってください。
- デバイスが USB ドライブまたはその他デバイスを検出した後、データのインポート操作とエクスポート操作を実行できます。
- 工場出荷時の設定に戻す時に、USB ドライブやその他の記憶装置を接続する必要はありません。

注: デバイスがサーバまたはクラウドモードの場合は、インポート/エクスポートせず、デバイスデータ全体のバックアップを実行します。



2.8.2 データのエクスポート

- 通行記録のエクスポート

デバイスを USB ドライブまたはその他デバイスに接続した後、通行記録をエクスポートできます。エクスポートされるコンテンツには、次の内容が含まれます。

通行記録の表: (.xls 形式);

キャプチャ画像 (.jpg 形式)。

エクスポートパス: USB ドライブのルートディレクトリにある event_log フォルダに保存。

注: 以前にエクスポートされたデータが既に存在する場合、「event_log」、「event_log2」などの名前を持つ複数のフォルダが作成されます。

- 個人写真をエクスポート

デバイスに USB ドライブまたはその他デバイスに接続した後、個人写真をエクスポートできます。

エクスポートされるコンテンツには、次の内容が含まれます。

- 写真 (.jpg 形式)

エクスポートパス: USB ドライブのルートディレクトリにある person_pic に保存。

注: 以前にエクスポートされたデータを上書きする場合は注意してください。

- デバイスパラメータのエクスポート
USB またはその他デバイスに接続された後、デバイスパラメータをエクスポートできます。
デバイスパラメータには、次の内容が含まれます。
アクセス制御パラメータ: ドアロック、ドアセンサー、認証方法に関連するデバイスパラメータ。
ネットワークパラメータ: イーサネットと Wi-Fi 接続に関連するデバイスパラメータ。
通信パラメータ: wiegand の構成に関連するデバイスパラメータ。
顔パラメータ: 顔認識のしきい値、および生体しきい値に関連するデバイスパラメータ。
エクスポートパス: USBドライブのルートディレクトリにある device_config に保存。
注: 以前にエクスポートされたデータを上書きする場合は注意してください。
- デバイス全体のデータバックアップ
USBドライブまたはその他デバイスに接続した後、デバイスデータのバックアップを実行できます。
全体のデータには、通行記録を除くパネルデバイスのすべてのデータが含まれます。
エクスポートパス: USBドライブルートディレクトリにある device_data に保存。
注: 以前にエクスポートされたデータを上書きする場合注意してください。

2.8.3 データのインポート

- 個人写真をインポートする
「個人写真のインポート」をタップして、インポート選択画面に移動します。
写真名: 登録者名/個人番号
インポートするファイルのパス: USBドライブルートディレクトリ→person_pic。
サポートされているファイル形式は、.jpg、png、.bmp です。
- デバイスパラメータのインポート
「デバイスパラメータのインポート」をタップすると、接続されている USB ドライブやその他デバイスから、デバイスパラメータファイルが自動的に読み込まれます。
インポートするファイルのパス: USBドライブのルートディレクトリ→device_config
インポートが完了すると、インポート完了の表示されます。
選択したフォルダにインポートするファイルが見つからない場合は、「device_config ファイルが検出されませんでした」というメッセージが表示されます。
デバイスパラメータをインポートすると、「インポートしたデータを有効化するには、アプリの再起動が必要です」と表示されます。
「OK」をタップしてデバイスを再起動するか、「キャンセル」をタップするかして下さい。
- 本体データのインポート
「本体データのインポート」をタップすると、接続されている USB ドライブやその他デバイスからバックアップファイルが自動的に読み込まれ、インポートされます。これにより、デバイス上の元のデータが消去されます。
インポートするファイルのパス: USBドライブのルートディレクトリ→device_data
インポートが完了すると、インポート完了が表示されます。
デバイスパラメータをインポートすると、「インポートしたデータを有効化するには、アプリの再起動が必要です」と表示されます
「OK」をタップしてデバイスを再起動するか、「キャンセル」をタップするかして下さい。

2.8.4 出荷時設定復元

工場出荷時のデフォルトに戻すことができます。[出荷時設定復元]をタップすると、「出荷時設定復元ではデバイス内の全データをクリアし、デバイスが再起動します。続けて宜しいですか?」という確認画面が表示されます。

[OK]をタップすると、出荷時の設定に戻りデバイスが再起動します。

それ以外の場合は[キャンセル]をタップします。

安全上の注意



警告

製品の設置および使用時には、国および地域の電気安全規則に厳密に従う必要があります。

標準の出荷時の電源アダプタを使用します。

火災や感電のリスクを低減するために、雨や湿気から製品を保護してください。使いやすい電源遮断装置は、建物の設置配線に組み込む必要があります。製品が壁または天井に取り付けられている場合は、しっかりと取り付けられていることを確認します。

製品が正常に動作しない場合は、製品を購入したサービスプロバイダに連絡してください。製品を分解したり、改変したりしないでください。(会社は、不正な変更や修理による問題に対して一切責任を負わないものとします。)



注意

振動や衝撃が発生しやすい地域や、電磁干渉源の近くに製品を設置しないようにしてください。

(これを行わないと製品が破損する可能性があります。)

火傷を避けるために、製品の放熱コンポーネントに触れないでください。

室内製品は、水や他の液体にさらされる可能性のある環境に設置しないでください。

非常に高温、非常に寒い、ほこりっぽい、腐食性、または高湿度の環境で製品を使用しないでください。特定の温度 および湿度の要件については、製品パラメータ表を参照してください。

強い光源(照明器具、太陽光、レーザー光など)でレンズを照らさないようにしてください。

熱の蓄積を避け、製品の周りの良好な換気を維持します。

イメージセンサーに直接触れないでください。センサーを洗浄する必要がある場合は、アルコールで柔らかい清潔な布を湿らせ、ほこりを軽く拭き取ります。製品が使用されていない場合は、イメージセンサーを保護するためにカバーします。